

神原文庫に見る

2010.10/29(金) > 11/11(木)

日本の近代医学の 夜明け

神原文庫に含まれる医学関連資料から江戸時代後期、近代医学の発展に貢献した人物とその業績について紹介する。

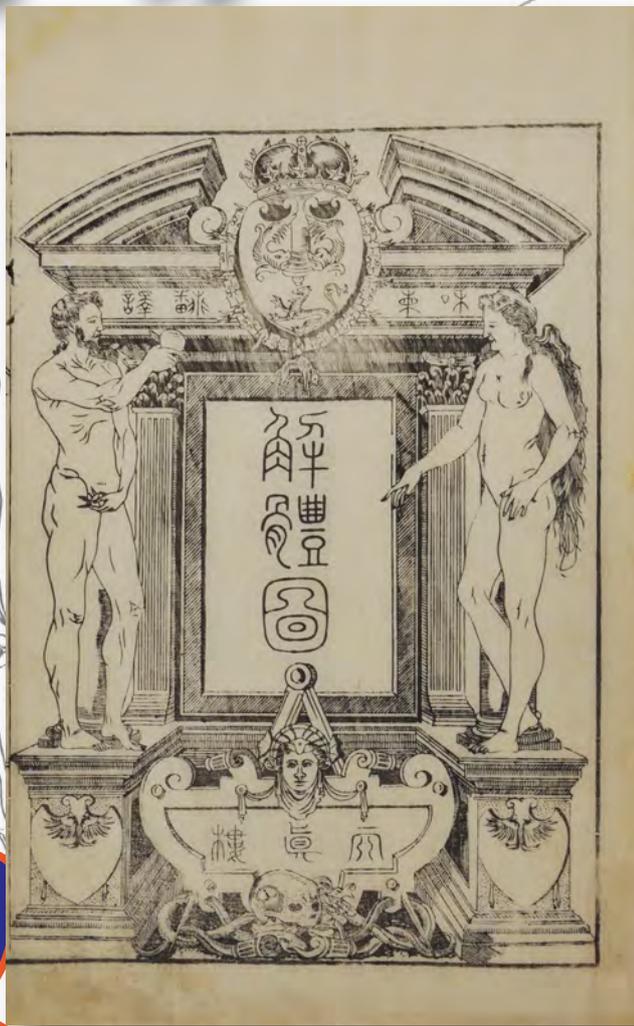
Bunko archive
Bungubys ag undobcu
of m...
支體全骨



支體全骨

神原文庫とは・・・

神原文庫は香川大学初代学長神原甚造氏が終世にわたって収集された約1万2千点からなる蔵書コレクションである。昭和29年に、同氏他界のあと香川大学に引き継がれ、その後、香川大学図書館で保管・公開を行っています。



解体新書(小石元俊校正書入) [寛政10年(1798)]

山脇東洋

杉田玄白

平賀源内

開催場所 香川大学図書館(高松市幸町1-1) 中央館2階コミュニケーションルーム

入場時間 9:00~17:15(入場は16:45まで)

最終日は16:00まで(入場は15:30まで)

入場料 入場無料

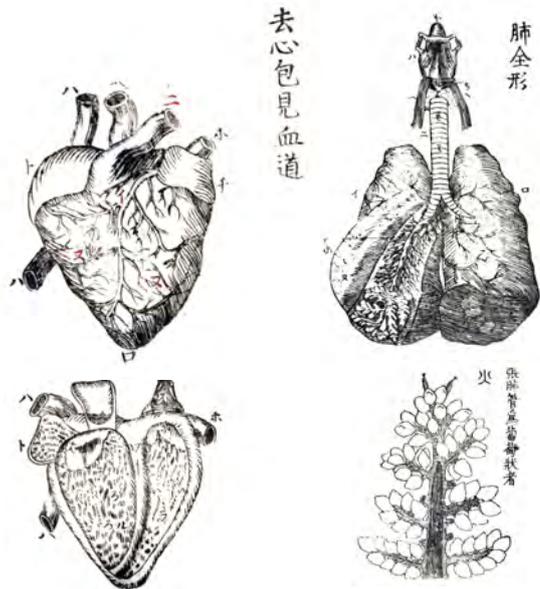
主催  香川大学図書館 後援

香川県教育委員会 高松市教育委員会 朝日新聞高松総局 産経新聞社高松支局
四国新聞社 毎日新聞高松支局 読売新聞高松総局 NHK高松放送局
RNC西日本放送 RSK山陽放送 KSB瀬戸内海放送 OHK岡山放送
TSCテレビせとうち FM香川 FM815

神原文庫に見る

日本の近代医学の夜明け

2010.10/29(金) > 11/11(木)

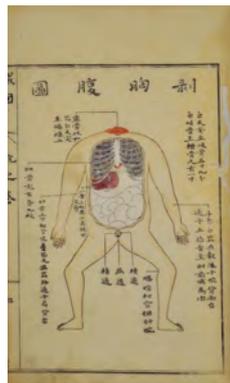


解体新書 (小石元俊校正書入) [寛政10年(1798)]

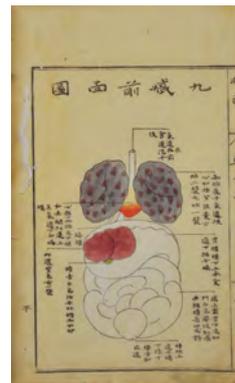
日本の近代医学は1754年(宝暦4年)、山脇東洋が、京都所司代の許可を得て、日本で初めて、死刑囚の解剖、観察したのに始まる。山脇東洋は1759年(宝暦9年)にはその成果を解剖図録「蔵志」として刊行した。

山脇東洋の解剖に触発され、腑わけを見た杉田玄白と前野良沢は、中川淳庵とオランダ語解剖学書「ターヘル・アナトミア」の翻訳を決心し、様々の苦労の後に、1774年(安永3年)に「解体新書」を発刊した。

今回は神原文庫中の「蔵志」と「解体新書」などを中心に展示し、日本の近代医学に貢献した人々と、その活躍を紹介する。



剖胸腹図

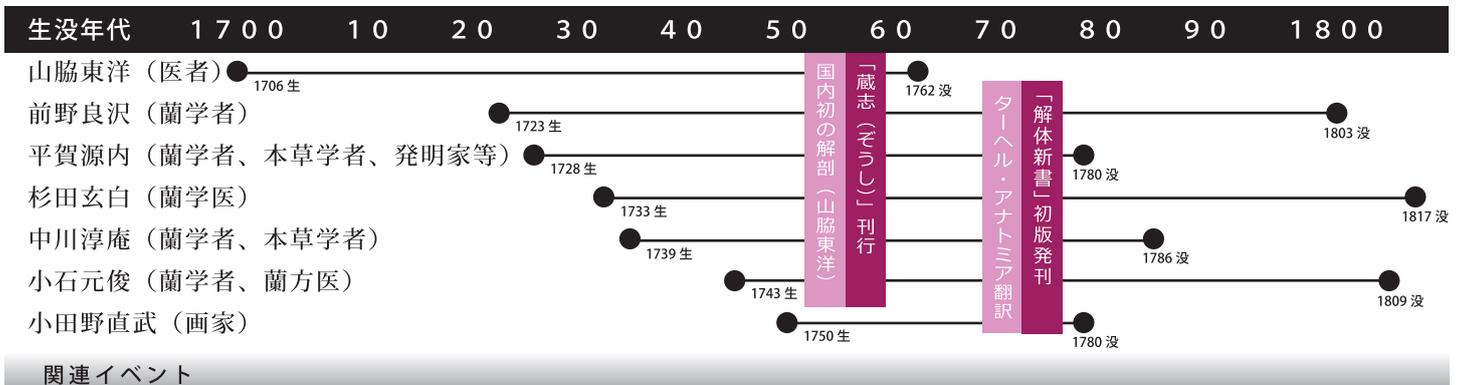


九臓前面図



九臓背面図
蔵志 宝暦9年(1759)

江戸後期に近代医学の発展に活躍した人々



関連イベント

記念講演会

演題 「日本の近代医学のあけぼの」

講師 香川大学医学部・教授 板野 俊文
 日時 平成22年10月30日(土) 13:30~15:00
 場所 香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース
 定員 先着70名(事前予約優先・当日入場可)
 対象 中学生以上の一般の方
 参加料 聴講無料

神原文庫所蔵の「蔵志」と「解体新書」を中心に講演を行う。「蔵志」は、日本で最初に行われた解剖の観察記録であるが、本文を紹介し、そこに至るまでの道りを解き明かす。また図は4葉であるが、それについて解説する。一方、「解体新書」では、いくつかの謎があるが、それについて、できうる限り解明を試みる。また神原文庫の「解体新書」は「小石元俊校正書入」本として知られているが、この小石元俊に関して、その人となりを解説したのちに、杉田玄白や、その弟子大槻玄沢、また元俊の弟子の橋本宗吉との関係も述べる。これらの登場人物がたどった数奇な人生の中から、日本の近代医学の産みの苦しみとあけぼのを解説する。

交通◎JR高松駅から

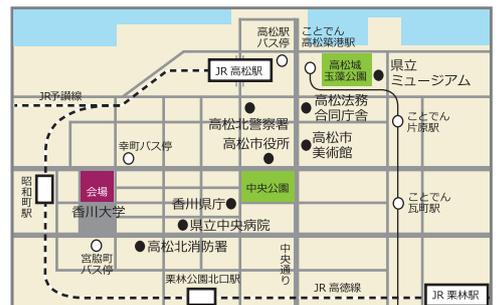
- 【JR】JR高松駅発
- 【バス】JR高松駅発
- ▶ JR高徳線 昭和町駅下車 徒歩5分
- ▶ ことでん市民病院ループバス 香大教育学部下車 徒歩1分
- ▶ ことでん笠線 幸町下車 徒歩2~3分
- ▶ ことでん香西線 宮脇町下車 徒歩2~3分
- ▶ 香川大学 約10分

※お願い 一般用駐車場は学内にありません。お車で越しの際は、最寄りの有料駐車場をご利用ください。

申込方法

お申し込みは、FAX・ハガキのいずれかで、
 ①氏名、②市町村名、③電話番号、④「記念講演会希望」と明記してください。

【お申込み・お問合せ先】
 香川大学図書館 カウンター
 TEL. 087-832-1250
 FAX. 087-832-1265



香川大学図書館

〒760-8525 高松市幸町1-1 TEL. 087-832-1250
<http://www.lib.kagawa-u.ac.jp>